

一般会計予算 6千496万円

平成十八年度 第一回奥州市議会定例会開催

平成十八年度第一回定例会は、六月二日から六月二十九日までの会期で開催され、奥州市国民保護協議会条例の制定等条例制定四件、奥州市市税条例の一部改正等条例改正四件、平成十八年度奥州市一般会計予算議定等、議案三十二件の審議と、請願五件・陳情一件の常任委員会審査が行われました。

一般質問は、六月八日から六月十六日までの九日間で行われ二十九名の議員が登壇し、市長、教育委員長の考えを質しました。

今議会の初日には、平成十八年度奥州市行政運営の基本となる相原市長の施政方針演説と高橋教育委員長の教育行政方針演説が行われました。

一般会計予算は、平成十七年度五市町村当初予算額と比較し、三・八%増の五百三十四億六千四百九十六万二千円となっています。一般会計予算議定等十五件の予算審査については全議員による予算審査特別委員会（及川善男特別委員長）を設置し、本会議場に於いて、市長・助役・収入役及び各部長・各総合支所の担当課長等の出席を求め、六月十九日より六月二十八日まで審査が行われ採決の結果、全議案が原案どおり可決されました。

奥州市一般会計予算については、緊縮健全を旨としながらも市民生活に極力影響が及ぶことがないようになど十六項目、奥州市水道会計、奥州市総合水沢病院、奥州市国民健康保険まごころ病院事業会計各議定についてはそれぞれ一項目の意見が付されました。

尚、議案二十七号（議案三十二号、平成十七年度水沢市水道事業会計決算認定など六件の決算審査については全議員による決算審査特別委員会（佐藤建樹特別委員長）を設置しましたが、日程の関係上、七月二十五日及び二十六日の二日間を設定し審査がおこなわれました。

〈審議された条例制定・条例改正について〉

一、奥州市国民保護協議会条例の制定について

この条例の制定の趣旨は、平成十六年「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」（国民保護法）をはじめ「米軍支援法」「特定公共施設利用法」など関連七法案が制定され戦時における民間人の保護を定めたジュネーブ二条約が国会承認されました。今回制定された条例は平成十六年度法律第百十二号が施工されたことに伴い、同法第四十条第八項の規定にもとづき、奥州市国民保護協議会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるための条例制定です。この条例の制定については、憲法で定めた国民の自由と権利を侵害することにつながらないか等、市民への説明もないまま制定するのは問題があるのではと継続審議の動議なども出されましたが採決の結果、賛成多数で可決されました。

一、奥州市環境審議会条例の制定について

原案可決

一、蔵まち郷土食材館条例の制定について

原案可決

一、奥州市市税条例の一部改正について

原案可決

一、上笹森交流館条例の制定について

原案可決

一、奥州市国民健康保険税条例の一部改正について

原案可決

一、奥州市国民健康保険診療施設の設置等に関する条例の一部改正について

原案可決

一、奥州市農村公園条例の一部改正について

原案可決